

港中だより

伊勢市立港中学校 No.2

R3. 4. 13

校長 金森 晃生

令和3年度 第75回入学式



4月9日に港中学校の令和3年度 入学式を行いました。新入生74人を迎え、全校生徒244人がそろい、今年度スタートしました。入学式は、今年度も新型コロナウイルスの影響で、在校生は出席できず、校歌を歌うことができませんでした。今後も全校で歌うことは難しいかも知れませんが、これから、全校生徒が力を合わせ、心を合わせて「みんなが安心して、楽しく登校できる学校」を目指したいと思います。

以下に、私が新入生に送った式辞の一部を掲載しました。



新入生のみなさんも、コロナ禍の中、さまざまな経験をして来たことと思います。ただ、感染症が生活に影響しても、かわらないこともたくさんあります。その中から、みなさんに、私から、大切にしてほしい四つのことをお話しします。

まず1つ目は、「夢を持つこと」です。夢は持たなければ絶対に実現しません。そして、その夢を実現するために、今実行すること、長い時間をかけて継続することを、しっかり考えてみましょう。あきらめなければ、夢に近づくはずです。そのための努力をし続けてください。そうすることが、夢の実現の近道です。ぜひ、夢を持ってください。

2つ目は「思いやりの心を持つこと」です。隣の人のお気持ちを考え、少しでもわかろうとすることです。そして、その人が思っていることを察し、何か行動を起こしてほしいと思います。その時、その時によって違いますが、相手の気持ちを考え、自分がその立場になって考えてみる、行動してみる。ぜひみなさんも、そんな心を持つ人になってください。

3つ目は、「学ぶこと」です。

中学校では、教科ごとに先生が代わります。それぞれの教科で今まで以上に専門的な勉強をするためです。得意な教科だけでなく、苦手な教科も勉強することで、たくさんのことを学び、知り、そして考えます。考えることは、この先、自分が決断したり、判断したりするときの材料になります。材料が多ければ多いほど、選ぶ道が増えます。選ぶ道が多いほど、みなさんが目指す夢に近づくことができます。その考える機会が、学校の授業です。ぜひ授業で多くの事を考え、授業を大切に、多くを学んでください。さらに、学校以外でも、いつでも、どこでも学ぶことを大切にしてください。

最後の4つ目は「命を大切にすること」です。みなさんは、これまで多くの人に支えられ、温かく見守られて育ってきました。一人ひとり顔も違うし、性格も考え方も違います。でもこの世に命を受けて生まれてきたことは同じです。どの命も必要な命です。選ばれて生まれてきたのです。私は、一人ひとりがこの世に生まれたのは、それぞれにやらなければならない使命があるからだと思います。自分自身の命はもちろん、他の人の命も大切にしてください。



このように4つのことを話しました。1年生は式を思い出し、2、3年生はぜひ読んで、もう一度、自分自身を見つめ、新たな気持ちを持ってください。また、新入生代表の中川さんから3つの誓いがありました。

- 1、何事も全力で取り組み、最後までやり遂げる
- 2、友達のことを考え、助け合い、誰もが最高の中学校生活を送れるよう努力する
- 3、感謝の気持ちを忘れず、行動する

このことは、新入生に限らず、全校生が持ち続けてほしいことです。

これから、全校生で、港中学校の新たな歴史を作りましょう。

自転車通学について

(生徒・保護者のみなさんへお願い)

4月から「みなと小学校」が開校しました。そのため、小学生の登下校における通学路が大きく変わりました。小学生の歩く方向が変わったところ、これまで通らなかった道を小学生が通るようになったところ、これまで出会わなかった方向から小学生が歩いてくるところなど、これまでとは違う登下校になりました。みなさんは、これまで以上に、十分な安全確認をしてください。最近、ニュースで歩行者同士がぶつかり、高齢の方が大けがをして、中学生（事故当時）に賠償金を支払うよう求めた裁判がありました。これは、ほんの一例です。自転車は交通弱者（高齢者・子どもなど）を守る義務があります。もし、歩行者と自転車（法令上は車と同じ）が事故を起こせば、賠償金などが発生することもあります。事故が起きれば、加害者も被害者も周りの人も、みんながつらい思いをします。自転車がスピードを出していたり、並進していたり、携帯電話を触っていたり、傘をさしていたり、いろんなケースがありますが、事故を起こせばほぼ、自転車の過失（注意義務に違反する状態や不注意）が問われます。他にも、横断歩道で歩行者が渡ろうと待っているのに、自転車が止まらなかった場合なども違反（車と同じ）です。だからと言って、自転車に乗ることを禁じているわけではありません。十分注意をして安全に利用してください。危険な場所については、自転車を降り、しばらくは押すか引くかすることも大切です。

小学生の通学路が変わったため、中学校の通学路の中で、自転車を降りて、通行しなければならないところがありました。みなと小学校の南側、狭い道路です。（下の地図参照）ここは、市が管理する道路で、伊勢市が危険を回避するため、自転車は降りると決め、道路にも「歩いて通行」の表示が書かれています。登下校や部活動などこれまでとは異なりますが、**安全のため必ず**

自転車から降りて、通行してください。港中の通学路の変更も検討しましたが、みなと小学校の西側は、横断歩道や路側帯が新たに作られ、道路がたいへん狭くなり、小学生も歩きますので、自転車は大変危険です。東側は、下野工業団地に勤務される方々で、朝は大変交通量が多く、また横断歩道なども整備されていません。そのため、中学生の安全を考える上で、通学路の変更はかなり難しいと思われます。まずは、自転車を降り、みなさんも含め多くの方が安全に通行できるようにしてください。保護者のみなさまも、ご協力をお願いいたします。



お詫びと訂正

前号（第1号）の完全下校の期日が（～4月31日）となっていました。30日の間違いです。お詫びして訂正します。